

2019年度 活動計画

1. 自主防災組織活動方針

- ①“自分の命は自分で守る”を基本に、住民の防災意識と防災知識・能力を高める。
- ②当面予想される大地震や火災、風の被害を軽減・防止するため、平常時における防災知識の普及・啓発・広報につとめる。日赤減災セミナー、防災訓練(安否確認、災害対策用資機材の取扱説明と使用体験、子供プログラム、消火栓を用いた放水訓練)、防災住民意見交換会、救急救命講習会を開催して災害時に備える。
- ③自主防災組織は住民全員が会員の組織。2019年度からは年数回開かれる防災会議をよりオープンなものとするために、防災会議の開催案内を広く会員の皆さまにお知らせする。ぜひご参加ください。
- ④新しい防災計画に基づき、災害時に迅速な行動が行えるよう、活動マニュアルを取りまとめる。

2. ひなん支援部会

- ① 災害時ひなん支援希望者調査を実施する。
 - ・支援希望者リストを更新し、必要に応じてサポーターを決める。
 - ・安否確認で使用する名簿と地図を作成し、倉庫に保管する。
 - ・支援希望者宅の訪問を年3回実施する。
- ② 日本赤十字減災セミナーを、6月に実施する。
 - ・避難所の運営をテーマに、茨城県日赤に講師をお願いする。

3. 情報部会

- ① 自主防災活動の広報
 - ・「防災だより」を年6回発行して活動報告、催し物の案内、その他お知らせ等を広報する
 - ・いばらき防災大学で使用した「防災士教本」から共有すべき情報を紹介する
 - ・ホームページに訓練や講習会等の活動報告、自主防災組織の各種会議議事録を掲載する。その他過去の「防災だより」を掲載していつでも見られるようにすると共に記録として残す。
 - ・災害発生時には掲示板、ホームページ、防災メール、街宣車を使って情報を提供する。
 - ・地震・台風・強風・大雨・その他異常気象が予想される場合、注意喚起のため防災メールを発信する。
- ② 防災メールの管理運営と普及促進
 - ・防災メールを受信するための携帯電話・スマホ等の設定を説明するパンフレットを作成
 - ・防災メール登録促進用チラシの作成
 - ・自治会新役員、新入居者への防災メール登録のお願い
 - ・防災メール相談会の開催(2回)
- ③ 防災に関する住民意見交換会の開催

4. 訓練部会

① 救急救命講習会（つくば市消防本部による心肺蘇生法、AED の使用方法、止血法等）の開催